

## 平成25年度 第3回 にいがた住まいの基本計画推進有識者会議 議事録

### 開催概要

- 1 日時：平成26年2月17日（月） 午後2時00分～3時40分
- 2 会場：新潟市役所 第1分館6階 1-601会議室
- 3 出席者：委員 7名、事務局（住環境政策課）6名、報道1名

### 議事録

#### 【事務局】

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただ今より平成25年度第3回「にいがた住まいの基本計画推進有識者会議」を開催いたします。

私、事務局の住環境政策課 課長補佐の石渡と申します。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

会議は公開で行わせていただきます。本日は一般の傍聴の方はいらっしゃいませんが、このまま進めさせていただきます。また、途中、傍聴の方がいらっしゃれば、お声かけさせていただきますので宜しくお願いいたします。

会議の概要につきましては、「新潟市附属機関等の会議の公開に関する指針」に基づきまして、事務局で作成し、配布資料と共にすみやかにホームページで公開させていただきます。なお、議事録作成のため、会議の音声を録音いたしますので、ご了承願います。

#### 【委員一同】

（異議なし）

**【事務局】**

ありがとうございます。

なお、私の進行の役割は開会にあたっての説明までとさせていただきます、次第「2」以降の議事進行は五十嵐委員長にお願いしたいと思います。

なお、本日は委員全員からご出席いただいておりますが、池田委員が所用のため遅れてまいりますことをご了承いただきたいと思っております。

それでは、まず、五十嵐委員長よりご挨拶をお願いいたします。

**【五十嵐委員】**

(五十嵐委員挨拶)

**【事務局】**

ありがとうございました。

それでは、議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。お手元の配布資料をご確認ください。

はじめは、本日の会議の「次第」となっております。

次に、「平成25年度第3回 にいがた住まいの基本計画推進有識者会議 配布資料一覧」となっております。こちらを参考に、ご確認をお願いします。

次からが会議の資料となります。

資料1から3までが【次第2】の資料となります。

資料1「新潟市の住生活の現状と課題」に関する委員意見等について」です。

A4 2枚の資料となっております。

資料2「新潟市の住生活の現状（追加）」です。

A4の横6枚の資料となっております。

資料3「新潟市の住生活の現状と課題」です。

A3 1枚の資料となっております。

次に、資料4が【次第3】の資料となります。

資料4「基本的な施策の方向性（案）」です。

A4 1枚の資料となっております。

続いて、資料5と資料6が【次第4】の資料となります。

資料5「新にいがた住まいの基本計画の全体構成（案）」です。

A4 1枚の資料となっております。

資料6「平成26年度 新にいがた住まいの基本計画策定業務スケジュール（案）」です。

A4 1枚の資料となっております。

会議資料につきましては、以上6種類の資料のほか、【次第2】の参考資料として「新潟市浸水ハザードマップ」の「中央区」と「東区」を配布させていただいております。その他、皆様のテーブルの上には、本日の座席表と委員名簿を配布させていただいております。

資料は以上になります。不足資料がございますでしょうか。

ここで、報道の方がいらっしゃいましたのでご案内いたします。日本工業経済新聞社様が傍聴したいということで、あわせて一部写真撮影もしたいということですがよろしいでしょうか。

【委員一同】

（異議なし）

**【事務局】**

ありがとうございます。

それでは、開催要綱第4条第2項により会議の議長は委員長が行うこととなりますので、ここからの議事進行は五十嵐委員長にお願いしたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

**【五十嵐委員長】**

はい、では議事を進めていきたいと思ひます。

最初に、本日の議事録署名委員を決めていきたいと思ひますが、本日については黒野副委員長と佐藤委員にお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。

**【黒野副委員長、佐藤委員】**

はい。

**【五十嵐委員長】**

それでは次第2の「新潟市の住生活の現状と課題の再整理」について、事務局よりご説明お願ひいたします。

**【事務局】**

(資料1、2について説明)

**【五十嵐委員長】**

はい。まず、資料の2について前回の時に「こういうデータはないか」という皆さんからのご意見で、事務局で調べていただいて、最初の世帯数については、まだ出ていないということですし、今ほどご説明いただいた中でも、補足説明がありましたように、まだそこまで分析しきれなかったというデータもございますが、ほとんど調べられたなということでございます。

その辺について、今の作っていただいた追加資料について、何かご質問とかご意見ございましたでしょうか。池田委員。

**【池田委員】**

資料3の現状と課題ですが、「住環境」の部分については、前回の会議の、まちなかや公共交通といった視点での整理も必要ではないかという意見を受けていただいたところだと思います。

分類の「公共交通軸に接する地域」では、公共交通に接する範囲の判断が難しいと思います。ここは「郊外」という表現にして、その中には、バスや鉄道がある地域もあるけれど、白根のように「農村地域」とは言えない地域で、鉄道も全くなく、バスもあまり便利でないという地域がある、というような捉え方にしてはどうか。また、「公共交通を活用しながら」とありますが、「促進する」とか、もう少し言葉を整理する必要があると思います。

分類としては、「まちなか」「郊外」「農村地域」くらいが、わかりやすいと思います。

また、まちなかについては、いろいろな課題がありますが、「都心居住」というキーワードが欲しいなど。例えば、「まちなかが衰退傾向にあり都心居住の促進と併せて日常の暮らしをまかなうため、まちなかに各種サービス機能を集積させていく必要がある」としてはどうか。

#### 【五十嵐委員長】

都市整備基盤の整っているまちなかで、例えば空き家の活用を推進しながら、都心居住を進めていくという方向性かと思います。

ありがとうございました。

#### 【池田委員】

(退席)

#### 【五十嵐委員長】

他に、資料2・資料3について、何かございますでしょうか。他に追加してもらいたいデータはないでしょうか。佐藤委員。

#### 【佐藤委員】

資料がわかりやすく、大変だったろうなと感心しております。ありがとうございました。

その中で、個人的に非常に最近興味をもっていたのが、資料1の6番の「地盤高」と、資料3の「安全・安心」の、赤字で書いていただいている「海拔0m以下の土地が広がり、「8. 4水害」と同等の降雨で、下水道の排水能力を超え、浸水すると想定される区域が点在する」という部分。

自宅から1個目の信号の脇を見ると、電柱が立っていて、その電柱に「ここは海拔-3.4mです」という赤いラインがすごく目に入るようになったのです。この表示で、改めて私は0m以下のところに住んでいるのだとわかりました。すごい雨が降ったら、大変なことになるのだなと。今、鳥屋野潟のところに、母の畑があるのですが、8.4水害の時は、その畑に置いてあった農機具が鳥屋野潟の水位が上がって全滅したことがありました。その後、親松排水機場ができたおかげで、今、かなり雨が降っても、畑まで水位が上がってくるということがなくなりました。

今新潟市では、下水道は分流式と合流式があったと思うのですが、私はできる限り、雨樋からの雨排水に対しては、できる限り自然排水を推進していきたいなという考えがありまして、前に新潟市の助成だったか、雨水を溜める・・・

**【五十嵐委員長】**

雨水貯留タンクですね。

**【佐藤委員】**

そうです。雨水貯留タンクは、溜まった雨水を庭の散水にも利用できるのですが、雨水貯留タンクの助成をもっと推進できたらと考えています。

また、今まで工事に携わってきた中で、意外に有効に働いてくれているのが、雨水浸透ますです。800mm くらいの深さに設置する小さなものですが、表面が粘土質でなかなか浸透していかないところでも、浸透ますを設けることで、地面から1mくらいのところは結構浸透していきます。現在、下水道工事がかなり進んできていますが、雨水排水を繋がなくともいいところについては、雨水浸透ますを助成する制度を紹介して利用していただけると、浸水被害の軽減につながっていくと思います。お願いします。

**【五十嵐委員長】**

雨水浸透ますや貯留タンクの周知ですね。

他にございませんでしょうか。高松委員。

**【高松委員】**

資料3の「住環境」のところ、先ほど池田委員のお話もありましたが、その中に、「公共交通

軸に接する地域」という項になりますが、「居住機能とともに、各種サービス機能を」とあります。この「各種サービス機能」というのが、日常の生活に関わるサービスということだと思えますが、高齢者の関係でいいますと、ソフト面が非常に重要と思えます。高齢者にとっての魅力的な施設、コミュニティセンターなどとも関係してきますが、高齢者が日常楽しく遊ぶところがないという意見が結構多く聞かれます。この各種サービスの中に、ハード面だけでなく、ソフト的なところも加味していただけるとよろしいかと思えます。そこに足を向けることは、豊かな生活、心の持ち方に関係すると思いましたので、この辺も少し膨らませていただけるとよろしいかなというふうに思いました。

**【五十嵐委員長】**

「住環境」については都市マスとの関連が強いので、どこまで書くか、どのような書きぶりにするかだと思います。結局、どんな場所でも気持ちよく長く住み続けるために、どのような環境が望まれるかということで、ある程度は、都市マスに振るようなかたちの書きぶりになるのではないかと思います。その辺は、事務局のこれからの宿題かなと思えます。大事なことでしね。

**【事務局】**

はい。

**【朝妻委員】**

一つよろしいですか。

**【五十嵐委員長】**

はい、どうぞ。

**【朝妻委員】**

資料3の「住宅ストック」の「現状」で、今回新しく「新潟県の大工数は減少傾向にある」とあって、それに対応して「課題」で「市民に身近な地元工務店等の技術の継承・向上をはかる必要がある」と書かれています。大工さんの数が減っているのは確かですが、現実問題として、職人さん全部が減っているのです。それで、地元工務店というと、基本的には大工さんを

抱えている監督さんがおいでになられるというかたちになりますので、それよりは専門業者さん、地元の左官屋さんや、工場生産品ではない、昔からある建具屋さんが作る建具、例えば障子とかが作れる方がかなり少なくなっている。雪見障子なんかは結構作れる方がいらっしやらないような状態になっている。欄間など、昔ながらの家を作ろうとするとかなりできない品物が増えてきているという状態になってきています。そのような専門業者さんについても書いていただければと思います。以上です。

**【五十嵐委員長】**

はい。では「等」の前に、具体的に「専門業者」などと入れておけばいいのではないかと思います。

他にございませんでしょうか。

黒野先生、よろしいでしょうか。

**【黒野副委員長】**

一つだけよろしいでしょうか。

**【五十嵐委員長】**

はい、どうぞ。

**【黒野副委員長】**

資料3の「住宅セーフティネット」のところに書いていただいたことで、高齢単身者の方が地域で安心して暮らせるように、「コミュニティの形成や活性化」と書いていただいている点についてです。どちらかというと、高齢者の場合、コミュニティが「形成される」というよりは、すでにある、その方が住んでおられるコミュニティが途切れないように「維持」する。そちらの方が高齢の方には大事かと思います。若い家族の方だったら「形成」でもいいと思うのですが。

**【五十嵐委員長】**

そうですね、コミュニティが崩れているという現状がありますものね。

**【黒野副委員長】**

その方が高齢者の「安心」に繋がるのではと思います。

**【五十嵐委員長】**

ありがとうございました。

こんな感じでよろしいでしょうか。

それでは、次第2の方は以上にいたしまして、次第3の方の「課題解決に向けた基本的な施策の方向性について」ということで、事務局からご説明お願いいたします。

**【事務局】**

(資料4について説明)

**【五十嵐委員長】**

はい、ありがとうございました。

「現状」はこれまでご報告させていただいた中で数値化できるところは数値化して記載させているということと、「課題」についても、下から2つ目の「公共交通軸沿線」は、先ほどの池田委員の発言で少し修正が必要になると思うのですが、整理をしていただいたということで。新計画の内容については、次の委員会で検討すべきことですが、私たちがこれまで年次での推移を見ていて、課題を整理してきた中で、新計画ではこんな方向性を考えてほしいという意見を汲んで、「基本的な施策の方向性」を書いていただいたと思います。更にご希望がございましたら伺いたいと思いますが、どうでしょうか。

だいたい方向性としてはこんな状況でよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございました。

では、こういう方向性で検討していただくということでお願いしたいと思います。

それでは、次の次第の4になります。今のことと関連いたしますけれども、「新計画策定の今後の進め方について」ご説明お願いいたします。

**【事務局】**

(資料5、6について説明)

**【五十嵐委員長】**

はい、ありがとうございます。

ただいまのご説明にご質問等はございますでしょうか。

現在、次期総合計画について検討されていますので、そこにうまく今までの議論の推進の方向性が入ってくれば、計画の策定も意外とスムーズにできるのかなと思います。事務局は是非頑張ってくださいと思います。

何かございますでしょうか。

このように進めていかれるということによろしいでしょうか。

はい、では宜しく願いいたします。

以上で議案としては終わりになります。今年度3回、この推進有識者会議を開催してまいりましたけれども、年度末控えていろいろとありがとうございました。

では、事務局にお返しいたします。

**【事務局】**

本日は長時間にわたり、新計画の課題に対するたくさんのご意見をいただきありがとうございました。また、年度末のお忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。皆様からご意見をいただきました内容については、今後の新計画策定に活かしてまいりたいと考えております。ご協力いただきありがとうございました。

それでは、以上をもちまして平成25年度第3回にいがた住まいの基本計画推進有識者会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

**<議事録署名>**

委 員 長 \_\_\_\_\_ (印)

議事録署名委員 \_\_\_\_\_ (印)

議事録署名委員 \_\_\_\_\_ (印)